

旧(平成30年3月策定)

(1) 市民文化系施設/a. 集会施設(センター的施設)

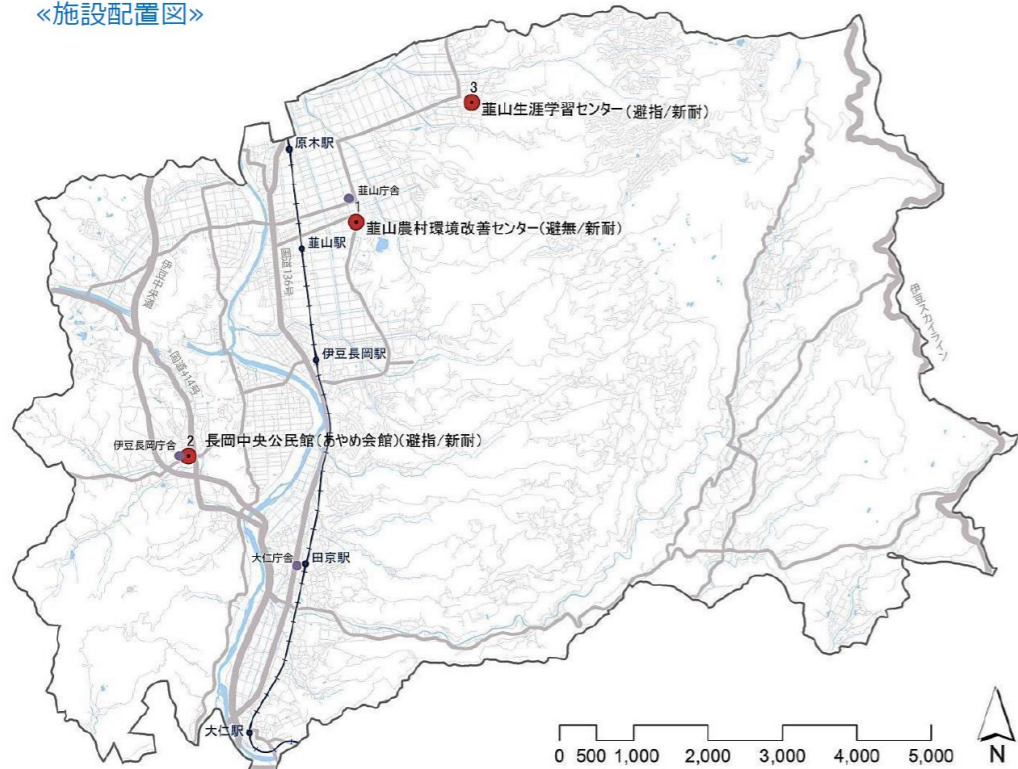
(1) 市民文化系施設

a. 集会施設(センター的施設)

《施設一覧》

施設番号	施設名	施設規模		安全性		利用・運営状況				
		敷地面積(m ²)	延床面積(m ²)	災害危険区域の状況	経過年数(年)	借地の状況	運営形態	利用者数(入館者数) 2013~2015年度の平均(人)	歳出(円) 2013~2015年度の平均	歳入(円) 2013~2015年度の平均
1	葦山農村環境改善センター	3,135.52	1,057.15	—	34	全所有	直営	29,534	11,842,000	1,999,000
2	長岡中央公民館(あやめ会館)	2,255.00	2,308.00	—	27	全所有	直営	29,519	12,544,000	962,000
3	葦山生涯学習センター	2,008.21	996.19	土砂災害警戒区域・土石流	32	全借地	指定管理	5,453	1,910,000	0
延べ床面積合計		4,361.34		公共施設全体に占める割合	2.54%					

《施設配置図》



凡例 ● センター的施設
 +--+ 鉄道 ● 駅名 — 自動車専用道路 — 国道 — 県道等
 1~139 施設番号 各施設名(①/②) ①防災拠点指定等の状況 ②耐震基準及び耐震補強の有無
 避指: 避難所・避難地指定あり 新耐: 新耐震
 避無: 避難所指定なし 旧耐済: 旧耐震・耐震補強有
 —: その他(※) 旧耐一: 旧耐震・耐震補強無

※その他: 緊急物資集積場所、教護所、自衛隊・警察・消防の救助活動拠点地、災害対策本部
 なお、指定のない施設においても、災害の状況によっては災害対応のため使用することがある

新(改定案)

(1) 市民文化系施設/a. 集会施設(センター的施設)

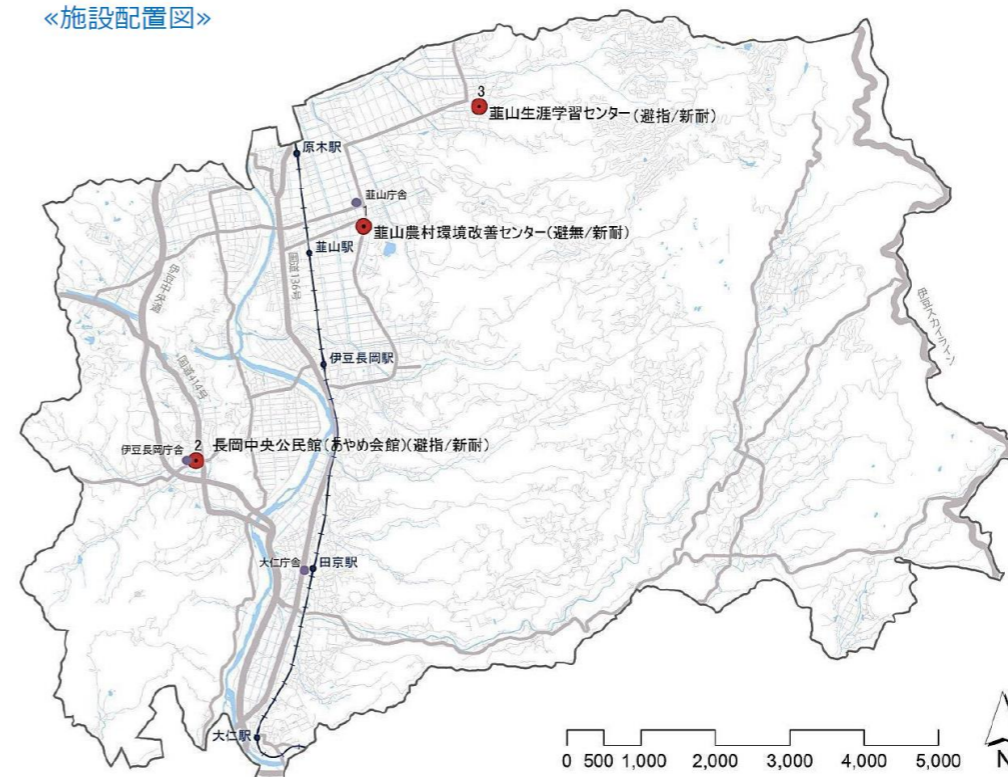
(1) 市民文化系施設

a. 集会施設(センター的施設)

《施設一覧》

施設番号	施設名	施設規模		安全性		利用・運営状況				
		敷地面積(m ²)	延床面積(m ²)	災害危険区域の状況	経過年数(年)	借地の状況	運営形態	利用者数(入館者数) 2013~2015年度の平均(人)	歳出(円) 2013~2015年度の平均	歳入(円) 2013~2015年度の平均
1	葦山農村環境改善センター	3,135.52	1,057.15	—	34	全所有	直営	29,534	11,842,000	1,999,000
2	長岡中央公民館(あやめ会館)	2,255.00	2,308.00	—	27	全所有	直営	29,519	12,544,000	962,000
3	葦山生涯学習センター	2,008.21	996.19	土砂災害警戒区域・土石流	32	全借地	指定管理	5,453	1,910,000	0
延べ床面積合計		4,361.34		公共施設全体に占める割合	2.54%					

《施設配置図》



凡例 ● センター的施設
 +--+ 鉄道 ● 駅名 — 自動車専用道路 — 国道 — 県道等
 1~139 施設番号 各施設名(①/②) ①防災拠点指定等の状況 ②耐震基準及び耐震補強の有無
 避指: 避難所・避難地指定あり 新耐: 新耐震
 避無: 避難所指定なし 旧耐済: 旧耐震・耐震補強有
 —: その他(※) 旧耐一: 旧耐震・耐震補強無

※その他: 緊急物資集積場所、教護所、自衛隊・警察・消防の救助活動拠点地、災害対策本部
 なお、指定のない施設においても、災害の状況によっては災害対応のため使用することがある

公共施設再配置計画見直し 新旧対照表 (1) 市民文化系施設/a. 集会施設(センター的施設)

旧(平成30年3月策定)

(1) 市民文化系施設/a. 集会施設(センター的施設)

ア 施設の概要

- ・センター的機能を有する集会施設は、市内に3施設を設置しています。
- ・3施設の設定目的は、それぞれ農村生活環境の向上、住民の社会福祉の増進、生涯学習の振興と異なりますが、いずれも会議室、研修室、教室、和室、実習室、調理室、多目的ホールなどで構成され、市民が会議や教室などで利用しています。
- ・葦山農村環境改善センターと長岡中央公民館は、いずれも貸館機能や行政機能を有し、施設間及び他類型の施設とも機能の重複がみられます。
- ・葦山生涯学習センターは、地域住民が公民館としても利用しています。

イ 施設の現状・課題を踏まえた評価結果

評価の視点	現状と課題	評価
提供主体	・「葦山農村環境改善センター」、「長岡中央公民館(あやめ会館)」は市の管理・運営、「葦山生涯学習センター」は、指定管理者による運営となっています。 ・「葦山生涯学習センター」は、自治会による管理・運営の可能性などの検討が必要です。	行政主体 (一部民間)
提供圏域	・全市的な施設で、提供圏域はやや広域的 です。	やや広域的
供給量	・類似自治体の公民館と比較して、人口当たりの延べ床面積は平均の約半分と小さく、1施設当たりの規模は平均の約2倍と大きくなっています(※公共施設状況調書 2014年度 総務省より)。 ・市の将来人口、将来人口構成などを考慮し、他施設との機能連携による施設規模の縮減、施設の集約化などの検討が必要です。	やや少ない
機能・汎用性	・販売目的や宗教目的での利用はできませんが、提供する機能から様々な用途での活用や機能の共有が期待できるなど、機能・汎用性は高く、他施設との複合・多機能化の検討が必要です。	高い

総合評価

提供主体や供給量では再配置の自由度は低く、提供圏域や機能・汎用性からは再配置の自由度は高いです。全体として実現できる再配置手法は限られてきます。



新(改定案)

(1) 市民文化系施設/a. 集会施設(センター的施設)

ア 施設の概要

- ・センター的機能を有する集会施設は、市内に3施設を設置しています。
- ・3施設の設定目的は、それぞれ農村生活環境の向上、住民の社会福祉の増進、生涯学習の振興と異なりますが、いずれも会議室、研修室、教室、和室、実習室、調理室、多目的ホールなどで構成され、市民が会議や教室などで利用しています。
- ・葦山農村環境改善センターと長岡中央公民館は、いずれも貸館機能や行政機能を有し、施設間及び他類型の施設とも機能の重複がみられます。
- ・葦山生涯学習センターは、地域住民が公民館としても利用しています。

イ 施設の現状・課題を踏まえた評価結果

評価の視点	現状と課題	評価
提供主体	・「葦山農村環境改善センター」、「長岡中央公民館(あやめ会館)」は市の管理・運営、「葦山生涯学習センター」は、指定管理者による運営となっています。 ・「葦山生涯学習センター」は、自治会による管理・運営の可能性などの検討が必要です。	行政主体 (一部民間)
提供圏域	・全市的な施設で、提供圏域はやや広域的 です。	やや広域的
供給量	・類似自治体の公民館と比較して、人口当たりの延べ床面積は平均の約半分と小さく、1施設当たりの規模は平均の約2倍と大きくなっています(※公共施設状況調書 2014年度 総務省より)。 ・市の将来人口、将来人口構成などを考慮し、他施設との機能連携による施設規模の縮減、施設の集約化などの検討が必要です。	やや少ない
機能・汎用性	・販売目的や宗教目的での利用はできませんが、提供する機能から様々な用途での活用や機能の共有が期待できるなど、機能・汎用性は高く、他施設との複合・多機能化の検討が必要です。	高い

総合評価

提供主体や供給量では再配置の自由度は低く、提供圏域や機能・汎用性からは再配置の自由度は高いです。全体として実現できる再配置手法は限られてきます。



旧(平成 30 年 3 月策定)	新(改定案)																								
(1) 市民文化系施設/a.集会施設(センター的施設)	(1) 市民文化系施設/a.集会施設(センター的施設)																								
ウ 再配置の方向性	ウ 再配置の方向性																								
<p>再配置の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の暮らしを安全・安心、快適に維持し、市全体のコミュニティづくりを支援する施設として位置づけます。 市全体及び地域間が集まる祭事や行事、イベントなど、市内のコミュニティのまとまりをつくる施設としての機能を目指します。 災害に備え、災害時の避難所として指定されており、市民の安全の確保のための役割を担います。 市民の施設利用も多く、その機能の必要性が高いことから、市が中心となり施設の維持を図ります。貸出施設の使用状況に応じた集約化や、施設の特性によっては、一部民間の協力及び参加による管理・運営を行います。 地区公民館としての機能を有する施設は、地区と協議しながら施設のあり方について検討します。 社会教育系施設など、関連する施設との連携を図ることも必要です。 	<p>再配置の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民の暮らしを安全・安心、快適に維持し、市全体のコミュニティづくりを支援する施設として位置づけます。 市全体及び地域間が集まる祭事や行事、イベントなど、市内のコミュニティのまとまりをつくる施設としての機能を目指します。 災害に備え、災害時の避難所として指定されており、市民の安全の確保のための役割を担います。 市民の施設利用も多く、その機能の必要性が高いことから、市が中心となり施設の維持を図ります。貸出施設の使用状況に応じた集約化や、施設の特性によっては、一部民間の協力及び参加による管理・運営を行います。 地区公民館としての機能を有する施設は、地区と協議しながら施設のあり方について検討します。 社会教育系施設など、関連する施設との連携を図ることも必要です。 																								
エ 再配置計画	エ 再配置計画																								
<p>再配置計画の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> サービスの提供圏域がやや広域で、類似する機能を有する施設を複数設置していることや、施設全体の供給量はやや少ないものの、将来人口の減少により施設利用者の減少が予測されることから、各施設の同一機能である貸館機能や共有空間などの統合を図ります。 貸館機能の統合は、施設の規模や経過年数を考慮すると、文化施設を拠点として統合を図ることが望ましいことから、文化施設の再配置の時期(前期から中期)にて機能の統合を図ります。 敷地規模や交通利便性を考慮し、拠点となる文化施設の位置を基本として、機能の統合を図ります。 庁舎機能は、同時期に庁舎の位置を基本として、機能の統合を図ります。 葦山生涯学習センターは、公民館として地域住民が利用していることから、運営の実態を踏まえ、早期(前期)に現在の位置を基本として自治会への移管を図ります。 <p>《再配置スケジュール》</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">前期 (2016(平成28)～ 2025(平成37)年度)</th> <th style="width: 33%;">中期 (2026(平成38)～ 2035(平成47)年度)</th> <th style="width: 33%;">後期 (2036(平成48)～ 2045(平成57)年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">葦山農村環境改善センター</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">長岡中央公民館(あやめ会館)</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">葦山生涯学習センター</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>《凡例》 ○○：機能縮減等 ○○：機能統合・複合化等 ○○：民間移管 ○○：広域連携</p>	前期 (2016(平成28)～ 2025(平成37)年度)	中期 (2026(平成38)～ 2035(平成47)年度)	後期 (2036(平成48)～ 2045(平成57)年度)	葦山農村環境改善センター			長岡中央公民館(あやめ会館)			葦山生涯学習センター			<p>再配置計画の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> サービスの提供圏域がやや広域で、類似する機能を有する施設を複数設置していることや、施設全体の供給量はやや少ないものの、将来人口の減少により施設利用者の減少が予測されることから、各施設の同一機能である貸館機能や共有空間などの統合を図ります。 あやめ会館と葦山農村環境改善センターの貸館機能は、文化施設の貸館機能と合わせて、葦山農村環境改善センターの更新時期(後期)に、敷地規模や交通の利便性等を考慮し、適切な位置に機能統合を図ります。 あやめ会館と葦山農村環境改善センターの庁舎機能は、庁舎の更新時期(後期)に、庁舎の位置を基本として、機能統合を図ります。 葦山生涯学習センターは、貸館としての運営の実態を踏まえ、更新時期(後期)に他施設との統合を図ります。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">前期 (2016(平成28)～ 2025(令和7)年度)</th> <th style="width: 33%;">中期 (2026(令和8)～ 2035(令和17)年度)</th> <th style="width: 33%;">後期 (2036(令和18)～ 2045(令和27)年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td>葦山農村環境改善センター</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>長岡中央公民館(あやめ会館)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>葦山生涯学習センター</td> </tr> </tbody> </table> <p>《凡例》 ○○：機能縮減等 ○○：機能統合・複合化等 ○○：民間移管 ○○：広域連携</p>	前期 (2016(平成28)～ 2025(令和7)年度)	中期 (2026(令和8)～ 2035(令和17)年度)	後期 (2036(令和18)～ 2045(令和27)年度)			葦山農村環境改善センター			長岡中央公民館(あやめ会館)			葦山生涯学習センター
前期 (2016(平成28)～ 2025(平成37)年度)	中期 (2026(平成38)～ 2035(平成47)年度)	後期 (2036(平成48)～ 2045(平成57)年度)																							
葦山農村環境改善センター																									
長岡中央公民館(あやめ会館)																									
葦山生涯学習センター																									
前期 (2016(平成28)～ 2025(令和7)年度)	中期 (2026(令和8)～ 2035(令和17)年度)	後期 (2036(令和18)～ 2045(令和27)年度)																							
		葦山農村環境改善センター																							
		長岡中央公民館(あやめ会館)																							
		葦山生涯学習センター																							
31	31																								

旧(平成 30 年 3 月策定)

(1) 市民文化系施設/a.集会施設(センター的施設)

工 再配置計画				
再配置にあつての留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点となる文化施設への複合・多機能化を図る際は、施設利用者が利用しやすい交通環境の確保を検討する必要があります。 ・自治会へ移管する施設は、自治会との調整を図りながら対応します。 ・施設計画においては、利用者の利便性確保や施設の効率的な管理・運営を図ります。 ・災害危険区域内に設置している施設を継続して利用する際は、安全対策(危険の周知や避難体制の整備など)を実施する必要があります。 			
再配置後の施設数及び延床面積の見込み	基準値		見込み値	
	施設数	延床面積	施設数	延床面積
	3	4,361.34 m ²	0	0.00 m ²

他自治体の取組事例
コミュニティセンター、図書館、観光案内所が一ヶ所に集まった交流拠点複合施設 (岩手県滝沢市)

【施設概要】
 施設名称：ビッグルーフ滝沢
 延床面積：6,356 m²
 建設年度：2016 年 8 月
 (全館オープン平成 29 年 4 月)

【再編内容】
 大ホールや会議室など貸し館機能を持つコミュニティセンター、図書館、市のアンテナショップ(産直、物販、ライブキッチン、レストラン)で構成された複合型の施設。
 住民が活動する場としての公共施設が不足。幅広い世代間交流プラス退職者や高齢者の学習・地域活動などの受け入れ先としても効率的施設を活用してもらうにあたり、一ヶ所にまとめることで、住民協働による機能的活用を目指した。

1F 2F

クッキングスタジオ D エリア 8

図書館 B エリア 31

キッズルーム A エリア 16

学習コーナー D エリア 33

新(改定案)

(1) 市民文化系施設/a.集会施設(センター的施設)

工 再配置計画				
再配置にあつての留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・機能統合を図る際は、施設利用者が利用しやすい交通環境の確保を検討する必要があります。 ・葦山生涯学習センターは公民館としても利用していることから、自治会との調整を図りながら対応します。 ・災害危険区域内に設置している施設を継続して利用する際は、安全対策(危険の周知や避難体制の整備など)を実施する必要があります。 			
再配置後の施設数及び延床面積の見込み	基準値		見込み値	
	施設数	延床面積	施設数	延床面積
	3	4,361.34 m ²	0	0.00 m ²

他自治体の取組事例
コミュニティセンター、図書館、観光案内所が一ヶ所に集まった交流拠点複合施設 (岩手県滝沢市)

【施設概要】
 施設名称：ビッグルーフ滝沢
 延床面積：6,356 m²
 建設年度：2016 年 8 月
 (全館オープン平成 29 年 4 月)

【再編内容】
 大ホールや会議室など貸し館機能を持つコミュニティセンター、図書館、市のアンテナショップ(産直、物販、ライブキッチン、レストラン)で構成された複合型の施設。
 住民が活動する場としての公共施設が不足。幅広い世代間交流プラス退職者や高齢者の学習・地域活動などの受け入れ先としても効率的施設を活用してもらうにあたり、一ヶ所にまとめることで、住民協働による機能的活用を目指した。

1F 2F

クッキングスタジオ D エリア 8

図書館 B エリア 31

キッズルーム A エリア 16

学習コーナー D エリア 33